

2025年1月29日

報道関係各位

GMOクリエイターズネットワーク株式会社

フリーランス新法の理解度は向上も、約9割がまだ影響を実感せず ～2025年、フリーランスは「自由」より「収入」を重視する傾向に～

GMOインターネットグループのGMOペパボ株式会社（代表取締役社長：佐藤 健太郎）の連結会社であるGMOクリエイターズネットワーク株式会社（代表取締役社長：五十島 啓人 以下、GMOクリエイターズネットワーク）は、運営している日本初^(※1)のフリーランスに特化した金融支援サービス「FREENANCE byGMO」（URL：<https://freenance.net/>）のユーザーを対象に、2024年11月に施行された「フリーランス新法」（フリーランス・事業者間取引適正化等法）による影響などについてアンケート調査を実施しました。

フリーランス新法は、フリーランスが安心して働ける環境の整備等を目的とした新しい法律です。新法の理解度をはじめ、収入面や今後の目標など、2025年のフリーランスとしての働き方についても調査しました。



FREENANCE（フリーランス）byGMO

フリーランス新法施行後の 変化や2025年の働き方 について調査

(※1) フリーランス・個人事業主に特化したオンラインファクタリングサービスを提供する国内主要4事業者が公表しているサービス提供開始年月を比較。2024年5月、自社調べ。

【調査サマリー】

- フリーランス新法の理解度は前回調査より約15ポイント向上
- 約9割のフリーランスはフリーランス新法の影響を実感せず
- フリーランスの環境は改善傾向？2024年は4割以上が収入増に
- 2025年は「自由」よりも「収入」重視。物価高なども影響か

【調査まとめ】

フリーランス新法の施行から約2ヶ月が経過した本調査では、内容を理解している人は31.8%と、施行前（2024年9-10月）の17.0%から約15ポイント向上していることがわかりました。一方で、新法の影響を実感している人は12.0%にとどまり、発注する企業側の対応変化が限定的である可能性が浮かび上がりま

した。

新法により「良い影響があった」と回答した理由は、契約書の締結や報酬の支払い期間が改善されたという意見が見られましたが、一部では「手続きの煩雑化による発注減少」も指摘されています。

フリーランスを取り巻く環境は改善傾向で、「2024年において収入が増えた」と回答した人は42.0%となり、「減少した」(27.8%)を大きく上回りました。2025年の働き方の目標は、「自由に働く」「新しい仕事に挑戦」などを抑えて「収入を増やす」(63.8%)が最多となっています。新法を追い風に仕事を充実させたいと考える人に加え、近年の物価高や生活コストの増加が収入への意識を高める一因と考えられます。

【調査概要】

調査テーマ	フリーランス新法や働き方等に関するアンケート
調査対象	「FREENANCE byGMO」に登録しているユーザー
調査期間	2024年12月25日(水)～2025年1月5日(日)
有効回答数	600件
調査方法	インターネットによる調査
調査機関	「FREENANCE byGMO」

*本調査レポートの百分率表示は小数点第二位以下四捨五入で端数処理を行っており、合計しても100%とならない場合がございます。

*メディア媒体での本調査結果の引用時には、以下のご対応をお願いいたします。

- ・クレジットに『「FREENANCE byGMO」調べ』と明記してください。
- ・WEB上で引用いただく際には、可能な限り「FREENANCE byGMO」(URL:<https://freenance.net/>)へのリンクをお願いいたします。
- ・メディア媒体以外での本調査結果の引用を希望の方は「FREENANCE byGMO」(Email:pr@freenance.jp)にお問い合わせください。

【調査結果】

フリーランス新法の理解度は約15ポイント向上

まずはフリーランス新法の施行から約2ヶ月が経過(調査実施時点)した段階で、この新法について知っているか聞いたところ、「制度の内容も知っている」が31.8%、「名前を聞いたことはある」が48.7%となりました。新法施行前の2024年9～10月に実施した調査^(※2)では「制度の内容も知っている」という回答が17.0%だったことと比較すると約15ポイント向上しています。

さらに「制度の内容も知っている」と回答した人に対し、この新法がフリーランスの働き方に良い影響を与えると思うかを聞くと、「思う」「どちらかといえば思う」という回答の合計が77.5%となり、この結果は前回の調査と大きな差は生じませんでした。

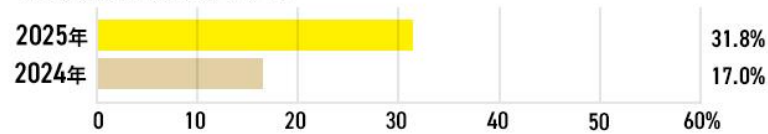
(※2) 2024年9月27日(金)～10月3日(木)に調査実施。<https://freenance.net/archives/news/4337/>

フリーランス新法は、フリーランスが安定的に働ける環境の整備等を目的としたものです。この制度を知っていますか?(回答数600)

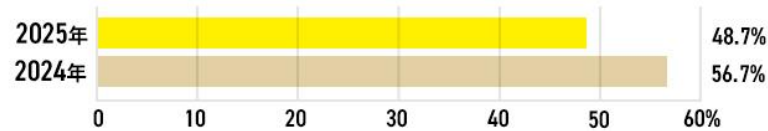
フリーランス新法は、フリーランスが安定的に働ける環境の整備等を目的としたものです。この制度を知っていますか？

(回答数 2024年430/2025年600)

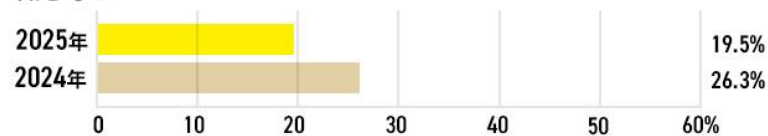
制度の内容も知っている



名前を聞いたことはある



知らない

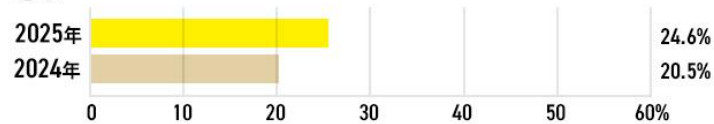


この法律がこれから、フリーランスの働き方に良い影響を与えますか？(回答数 191)

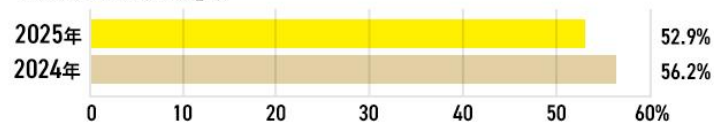
この法律がこれから、フリーランスの働き方に良い影響を与えますか？

(回答数 2024年73/2025年191)

思う



どちらかといえば思う



どちらかといえば思わない



思わない

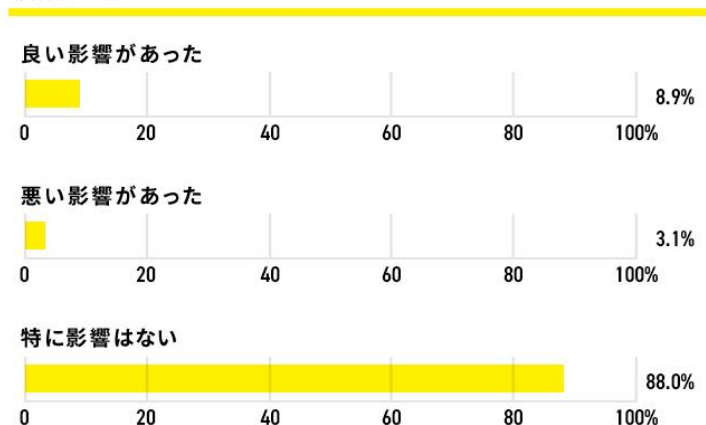


約 9 割のフリーランスはフリーランス新法の影響を実感せず

次に、新法によって自身のフリーランスの業務に影響があったかを聞くと、「特に影響はない」が最多で 88.0%となりました。新法を理解するフリーランスは増えていても、発注する企業側の対応が限定的である可能性が考えられます。

この法律によって、今日までにご自身のフリーランスの業務に何か影響がありましたか？ (回答数 191)

この法律によって、今日までにご自身のフリーランスの業務に何か影響がありましたか？
(回答数 191)



「良い影響があった」「悪い影響があった」と回答した人にどのような変化があったか質問したところ、良い影響については「契約書の締結」「報酬の支払い期間」に関する回答がありました。一方、悪い影響として、発注側の手続きが煩雑化することでフリーランスへの発注が減ったと感じるという声がありました。

<良い影響があった>

- ・クライアント側から契約書を交わすことを提案してくれた (30 代/職種：カメラマン・映像クリエイター・イラストレーターなど)
- ・成果物を納品してから報酬が支払われるまでの期間が改善された (50 代/職種：ライター)
- ・クライアント側が原因で生じた修正を有料にしてもらえた (50 代/職種：カメラマン・映像クリエイター・イラストレーターなど)

<悪い影響があった>

- ・手続きの面倒さに相手側が (フリーランスへの発注を) 敬遠しがち (30 代/職種：カメラマン・映像クリエイター・イラストレーターなど)
- ・クライアントの事務手続きが増えたことで、小さな仕事も株式会社へ依頼するようになりフリーランスへ仕事が回らなくなってきた (40 代/職種：広告・マーケティング)

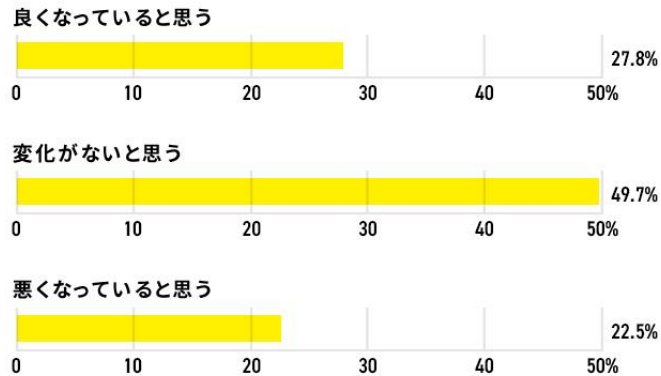
※回答の一部を、読みやすくするために文言調整

フリーランスの環境は改善傾向？ 2024 年は 4 割以上が収入増に

新法の施行などを受け、フリーランスを取り巻く環境は年々良くなっているか質問しました。「変化がないと思う」という回答が約半数でしたが、「良くなっていると思う」という回答が 27.8%で、「悪くなっていると思う」という回答の 22.5%を上回りました。

フリーランスを取り巻く環境は年々良くなっていると思いますか？(回答数 600)

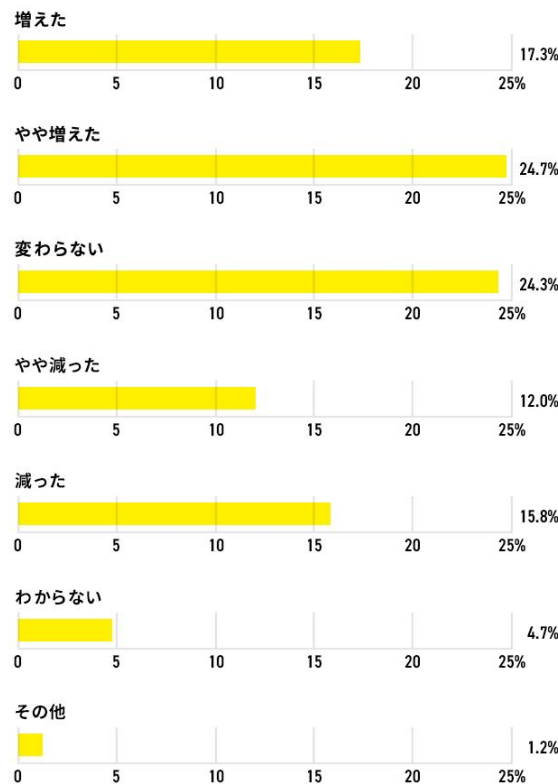
フリーランスを取り巻く環境は
年々良くなっていると思いますか？
(回答数 600)



また、収入面についても調査しました。この1年間（2024年）の収入は、昨年（2023年）と比較して変化があったか聞くと「増えた」「やや増えた」の合計が42.0%となり「減った」「やや減った」の合計27.8%を上回りました。

この1年間（2024年）の収入は、昨年（2023年）と比較して変化がありましたか？(回答数 600)

この1年間(2024年)の収入は、
昨年(2023年)と比較して変化がありましたか？
(回答数 600)



2025年は「自由」よりも「収入」重視。物価高なども影響か

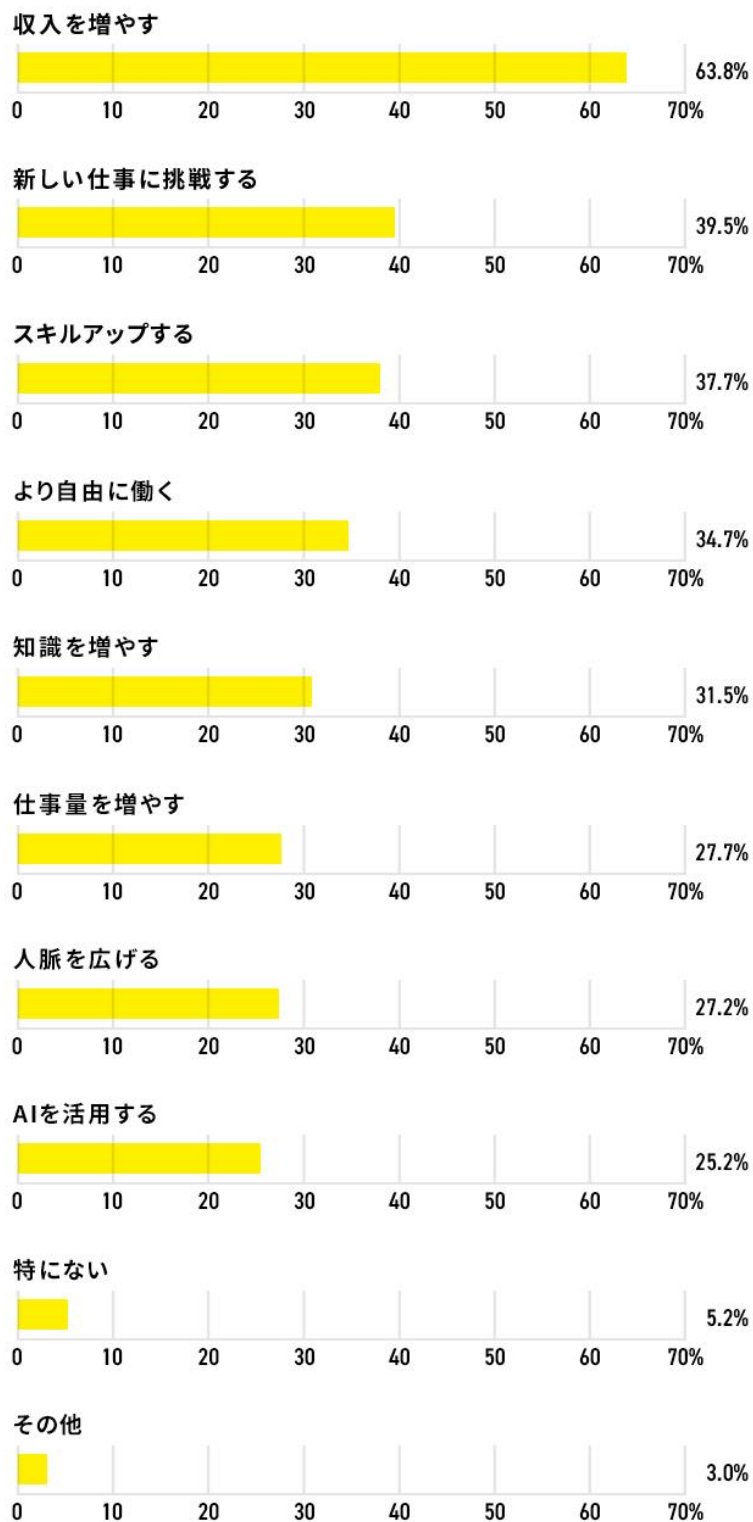
2025年の働き方の目標を聞きました。最も多かった回答は「収入を増やす」で63.8%となり、「より自由に働く」「新しい仕事に挑戦する」等の回答を上回りました。フリーランス新法などを追い風に仕事を増

やりたいという前向きな気持ちの人に加え、近年の物価高や生活コストの増加が収入への意識を高める一因と考えられます。

2025年の、フリーランスとしての働き方の目標はありますか？(複数回答可：回答数 600)

2025年の、フリーランスとしての働き方の目標はありますか？

(複数回答可：回答数600)



【調査結果のご提供について】

本プレスリリースには掲載しておりませんが、上記項目の詳細結果もご用意しております。ご希望のメディア関係者様はお気軽にGMOクリエイターズネットワーク広報までお問い合わせください。なお、メディア関係者様限定での提供となりますのでご了承ください。

【「FREENANCE byGMO」とは】

GMOクリエイターズネットワークが提供する、フリーランスのための金融支援サービスです。請求書（売掛債権）をすぐに現金化できるファクタリングサービス『FREENANCE 即日払い』が利用でき、最大5,000万円の補償が受けられるフリーランス特化型の損害賠償保険が無料付帯します。また、会員登録時に本人確認・反社チェックを行なっているため、「FREENANCE byGMO」の会員であることを、クライアント企業に対する信用の証として利用いただけるなど、フリーランスの働き方を支援しています。

【GMOクリエイターズネットワーク株式会社について】

GMOクリエイターズネットワークは、GMOインターネットグループのGMOペパボ株式会社（代表取締役社長：佐藤 健太郎）の連結会社です。2018年に日本初のフリーランス特化型金融支援サービス「FREENANCE byGMO」の提供を開始し、さまざまな施策や取り組みを通じて個人クリエイターの活躍をサポートしています。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMOペパボ株式会社
広報担当 伊早坂
TEL：03-5456-2614
E-mail：pr@pepabo.com

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMOクリエイターズネットワーク株式会社
FINTECH 事業部 広報担当
TEL：03-5458-8056
E-mail：pr@freenance.jp

- GMOインターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 西崎

TEL：03-5456-2695

お問い合わせ：<https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

【GMOクリエイターズネットワーク株式会社】（URL：<https://www.gmo-cn.jp/>）

会社名	GMOクリエイターズネットワーク株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 五十島 啓人
事業内容	■フリーランス向け金融支援サービス
資本金	1億円

【GMOペパボ株式会社】（URL：<https://pepabo.com/>）

会社名	GMOペパボ株式会社（東証スタンダード市場 証券コード：3633）
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 佐藤 健太郎
事業内容	■ホスティング事業 ■EC支援事業 ■ハンドメイド事業 ■金融支援事業
資本金	2億6,222万円

【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO Creators Network, Inc. All Rights Reserved.